User's
Manual

TZ950
パラメータ設定ツール
取扱説明書

IM 77E01E11-01

YOKOGAWA
横河電機株式会社

IM 77E01E11-01
3版

Blank Page

はじめに

本書は，TZ950パラメータ設定ツールによるTZ510のパラメータ設定に必要な情報を記載しています。
TZ950には，具体的な設定例やQ&Aなどが記載された，README.txtおよびヘルプファイルが付加されています。本書とともに読まれるようお願いします。

■ 対象とする読者

本書の内容は，TZ510広域警報監視装置の機能を理解し，Windowsの操作を十分に理解されている方を対象にしています。

■ 関連する資料

TZ950の関連する資料は次のとおりです。必要に応じて参照してください。

- TZ510広域警報監視装置 取扱説明書（IM 77E01E01-01）
  TZ510の機能，取付，接続方法などを説明しています。
- TZ510広域警報監視装置，TZ950パラメータ設定ツール 仕様書（GS 77E01E01-01）

■ 梱包内容の確認

以下のものが揃っていることをご確認ください。

- 3.5インチ2HDフロッピーディスク：2枚
- 取扱説明書（本書：IM 77E01E11-01）：1冊

■ 登録商標

会社名および商品名は，各社の商標または登録商標です。

All Rights Reserved. Copyright © 2001, Yokogawa Electric Corporation

本書の表記について

■ 本書で使用しているシンボルマーク

本書では，以下のシンボルマークを使用しています。

● 本文中におけるシンボルマークを使用しています。

注　意

機能および操作を知る上で注意すべきことがらを記述してあります。

補足

説明を補足するためのことがらを記述してあります。

参照

参照すべき項目を記述してあります。

● 図，表中におけるシンボルマーク

【注 意】：機能を知る上で注意すべきことがらを記述してあります。

【補 足】：説明を補足するためのことがらを記述してあります。

【参 照】：参照すべき項目などを記述してあります。

■ 製品の表示について

(1) 本書に記載されているイラスト・挿し絵は，説明の都合上，強調や簡略化または一部を省略していることがあります。
(2) 本書の表示図は，機能理解および監視操作に支障を与えない範囲で，実際の画面表示と表示位置や文字(大／小文字など)が異なる場合があります。

安全に使用するための注意事項

■ 本書 に対する注意

(1) 本書は，最終ユーザーまでお届けいただきますようお願いいたします。また，本書は大切に保管していただきますようお願いいたします。
(2) 本製品の操作は，本書をよく読んで理解したのちに行ってください。
(3) 本書は，本製品に含まれる機能詳細を説明するものであり，お客様の特定目的に適合することを保証するものではありません。
(4) 本書の内容の一部または全部を無断で転載，複製することは固くお断りいたします。
(5) 本書の内容については，将来予告なしに変更することがあります。
(6) 本書の内容については万全を期して作成しておりますが，もしご不審な点や誤り，記載もれなどお気付きのことがありましたら，お買い求めの販売店または当社営業までご連絡ください。

■ 本製品の保護・安全および改造に関する注意

(1) 本製品および本製品で制御するシステムの保護・安全のため，本書の安全に関する指示事項にしたがって本製品をご使用ください。なお，これらの指示事項に反する扱いをされた場合，当社は安全性を保証いたしません。
(2) 本書では，安全に関する以下のようなシンボルマークを使用しています。

● 製品および取扱説明書で使用しているシンボルマーク

“ 取扱注意 ” を示しています。
本製品においては，人体および機器を保護するために取扱説明書を参照する必要がある場所に付いています。また，取扱説明書においては感電事故など，取扱者の生命や身体に危険が及ぶ恐れがある場合にその危険を避けるための注意事項を記述してあります。

“ 保護接地端子 ” を示しています。
機器を操作する前に必ずグランドと接続してください。

“ 機能用接地端子 ” を示しています。
機器を操作する前に必ずグランドと接地してください。

■ 本製品の免責について

(1) 当社は，保証条項に定める場合を除き本製品に関していかなる保証も行いません。
(2) 本製品の使用によりお客様または第三者が損害を被った場合，あるいは当社の予測できない本製品の欠陥などのため，お客様または第三者が被った損害およびいかなる間接的損害に対しても当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
(3) 本製品の部品や消耗品を交換する場合は，必ず当社の指定品を使用してください。
(4) 本製品を改造することは固くお断りいたします。
(5) 本製品の逆コンパイル，逆アセンブルなど(リバースエンジニアリング)を行うことは，固くお断りします。
(6) 本製品は，当社の事前の承認なしにその全部または一部を譲渡，交換，転貸などによって第三者に使用させることは，固くお断りいたします。

TZ950 パラメータ設定ツール
取扱説明書

IM 77E01E11-01　3版

目　次

はじめに i
本書の表記について ii
安全に使用するための注意事項 iii
1. TZ950について 1-1
1.1 概要 1-1
1.2 動作環境 1-1
1.3 基本機能 1-2
1.4 システム構成とRS-232Cケーブル仕様 1-3
1.4.1 システム構成 1-3
1.4.2 RS-232Cケーブル仕様 1-3
2. TZ950をセットアップする 2-1
2.1 インストール 2-1
2.2 アンインストール 2-4
3. TZ950の起動と終了 3-1
3.1 起動 3-2
3.2 終了 3-3
4. メイン画面の各部名称と役割 4-1
5. パラメータの説明 5-1
5.1 子局情報 5-2
5.2 セキュリティ 5-3
5.3 接点入力 5-4
5.4 アナログ入力 5-5
5.5 警報発報 5-6
5.6 日報発報 5-7
5.7 TCP／IP 5-8
5.8 通信条件 5-9

6. TZ950の基本操作 6-1
6.1 パラメータの設定手順 6-2
6.2 通信ポートを設定する 6-3
6.3 パラメータをアップロードする 6-4
6.4 パラメータを編集する 6-5
6.5 パラメータをダウンロードする 6-6
6.6 ファイルの入出力 6-7
6.6.1 ファイルの読み込みをする 6-7
6.6.2 ファイルの保存をする 6-7
6.7 その他のパラメータ変更 6-8
6.7.1 表示中のパラメータを初期化する 6-8
6.7.2 TZ510のパラメータを初期化する 6-8
6.8 パラメータの印刷 6-9
6.9 時刻設定 6-10
6.10 入出力モニタ 6-11
6.11 自己診断結果の読み込み 6-12
取扱説明書 改訂情報 i

1. TZ950について

この章では，TZ950パラメータ設定ツールの動作環境や機能について説明します。

1.1 概要

パラメータ設定ツールTZ950は，TZ510の運転動作に必要な機能選択および数値などのパラメータを設定するパソコンソフトです。フロッピーディスク2枚と取扱説明書（本書：IM 77E01E11-01）で構成されています。本ソフトウエアをパソコンにインストールすることで使用できます。
設定は，パソコンとTZ510をRS-232Cケーブルで接続して行います。

1.2 動作環境

項目	動作条件
動作マシン	PC/AT互換機
メモリ	32MB以上
ハードディスク容量	100MB以上の空き領域が必要
CRT	800×600ピクセル以上，表示色：256色以上を推奨
動作OS	Windows 95（OSR2以上）日本語版 Windows 98（サービスパック1以上）日本語版 Windows Me　日本語版 Windows NT4.0（サービスパック5以上）日本語版 Windows 2000　日本語版

1.3 基本機能

■ アップロード

TZ510のパラメータをパソコン（TZ950）に読み込みます。

■ ダウンロード

TZ510にパラメータをパソコン（TZ950）から書き込みます。

■ 編集

TZ510のパラメータ編集（変更）する操作です。

■ ファイルの入出力

アップロードやダウンロードしたパラメータをハードディスクやフロッピーディスクに保存します。

■ 時刻設定

TZ510の時刻を設定します。

■ 入出力モニタ

TZ510の入出力値をモニタリングする操作です。

■ 自己診断結果の読み込み

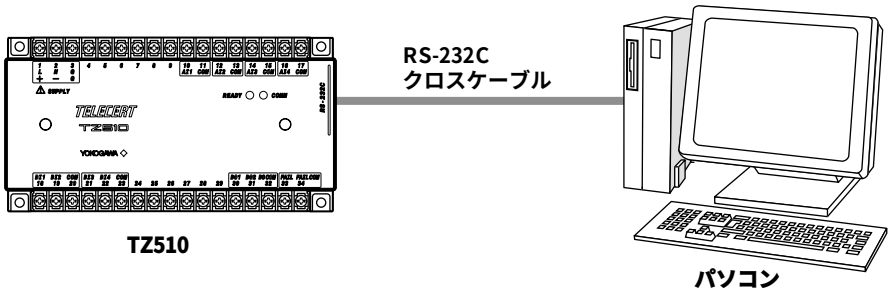
TZ510の自己診断結果を通信して読み込む操作です。

参照

各機能の詳細は，本書の「6章 TZ950の基本操作」を参照してください。

1.4 システム構成とRS-232Cケーブル仕様

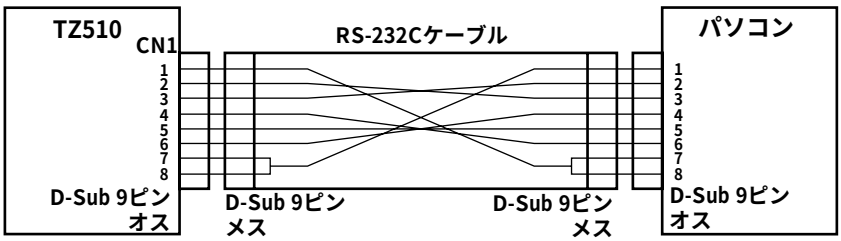
1.4.1 システム構成

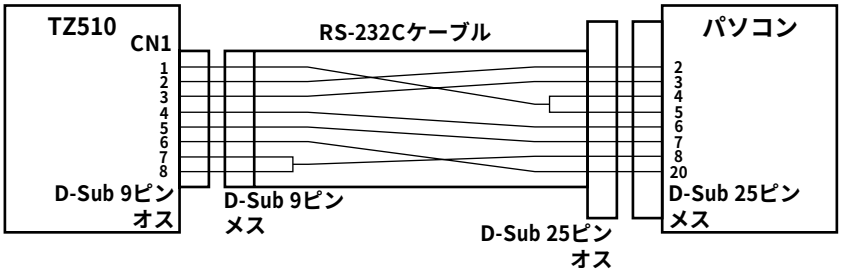


1.4.2 RS-232Cケーブル仕様

接続には，RS-232Cクロスケーブルを使用します（別途購入）。RS-232Cクロスケーブルは，以下のケーブルを推奨します。

PCインタフェース	製品型番	メーカ名	仕様
D-Sub 9ピン オス	KRS-403□	サンワサプライ（株）	0.75～5m
D-Sub 25ピン オス	KRS-423□	サンワサプライ（株）	0.75～5m





Blank Page

2. TZ950をセットアップする

この章では，インストーラを使って，TZ950をインストールする方法を説明します。ここでは，ハードディスクをCドライブ，フロッピーディスクドライブをAドライブとして，説明します。お使いになるドライブ名に合わせて読み替えてください。

2.1 インストール

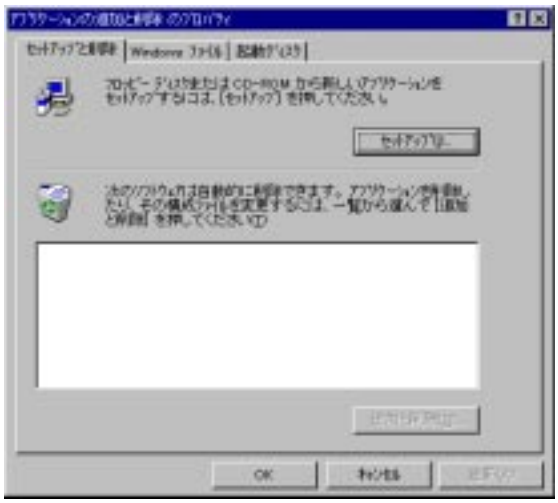
『手順1』　実行中のプログラムを全て終了します。

『手順2』　タスクバーの［スタート］ボタンをクリックします。

『手順3』　［設定］の［コントロールパネル］をクリックします。

『手順4』　［アプリケーションの追加と削除］をダブルクリックします。

『手順5』　「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」が表示されます。
［セットアップ］ボタンをクリックします。



『手順6』［次へ］ボタンをクリックします。

『手順7』　「セットアッププログラムのコマンドライン」に「A:\SETUP.EXE」と表示されているのを確認し，［完了］ボタンをクリックします。

『手順8』　インストール先のフォルダを指定します。「CドライブのProgram File\TZ950」でよい時は，［次へ］ボタンをクリックします。

『手順9』　プログラムアイコンを作成するフォルダを指定します。通常はこのまま［次へ］ボタンをクリックします。

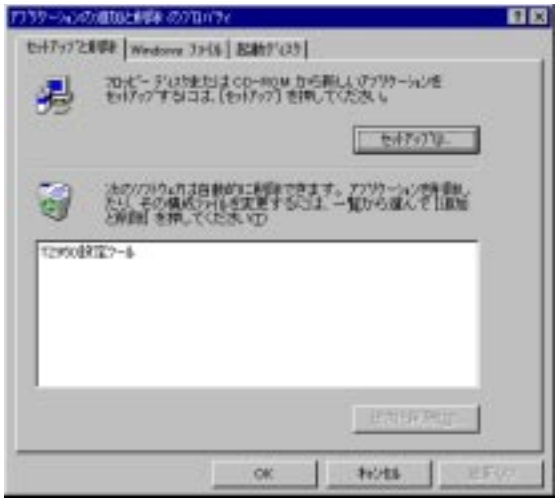
『手順10』　フロッピーディスクからファイルをコピーしています。

『手順11』　プログラムのインストールが正常に終了しました。READ.MEファイルを読む場合は，「Read.Meファイルを表示する」を，すぐにTZ950を起動する場合は，「TZ950を起動する」をチェックし，［完了］ボタンをクリックします。

2.2 アンインストール

『手順1』 「2.1 インストール」の（手順1）から（手順4）の操作を行います。

『手順2』 「セットアップ削除」の「TZ950設定ツール」を選択し，［追加と削除］ボタンをクリックします。



『手順3』 確認のメッセージが表示されますので，削除する場合は，［はい］ボタンをクリックします。

3. TZ950の起動と終了

この章では，TZ950の起動と終了の方法を説明します。

3.1 起動

標準プロファイルでインストールしたTZ950を使って，説明します。

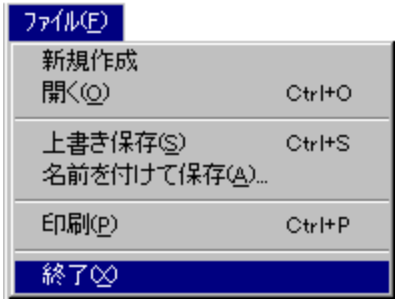
『手順1』　タスクバーの［スタート］ボタンをクリックします。

『手順2』　［プログラム］の［TZ950］をポイントし，［TZ950］をクリックします。

TZ950が起動し，メイン画面を表示します。

3.2 終了

TZ950を終了するには，［ファイル］メニューの［終了］をクリックします。

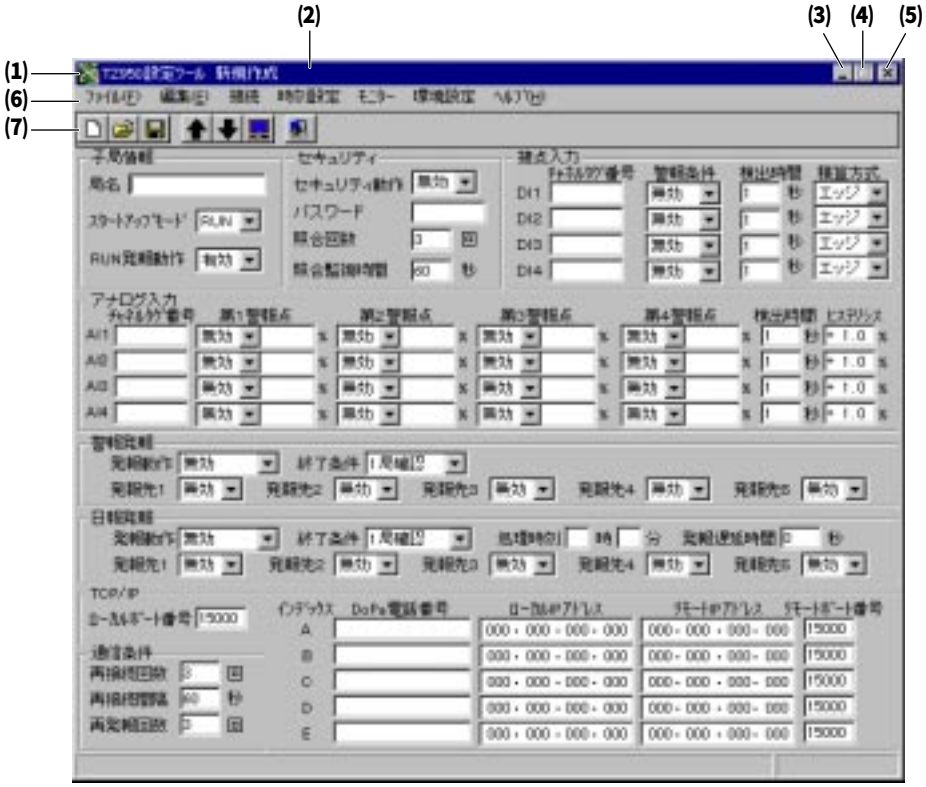


操作例の手順以外にも，キーボードから<ALT>＋<F4>を押すか，タイトルバーの をクリックしてもTZ950を終了できます。

Blank Page

4. メイン画面の各部名称と役割

この章では，TZ950のメイン画面の各部名称と役割について説明します。



(1) プログラムのコントロールメニューボタン

TZ950を最小化したり，終了する時に使います。

(2) タイトルバー

ここはプログラムのタイトル「TZ950設定ツール」と編集中のファイル名（アップロードした場合には，「アップロード」と表示）が表示されます。

(3) ウィンドウをアイコン化

TZ950をアイコン化します。

(4) ウィンドウを最大化

クリックできません。使用不可です。

(5) ウィンドウを閉じる

TZ950を終了します。

(6) メニューバー

ここに表示されている【ファイル(F)】，【編集(E)】などの項目をメニューと呼び，クリックするとメニューがプルダウンして，コマンドの一覧が表示されます。

(7) ツールバー

アイコンが横一列に並べられた部分をツールバーといいます。
ツールバーに表示されているアイコンは，それぞれが特定のコマンドを実行するためのボタンになっています。これらのボタン使うとメニューを選択することなくコマンドを実行できます。

(8) 子局情報

子局に関する設定をします。

(9) セキュリティ

セキュリティに関する設定をします。

(10) 接点入力

接点入力に関する設定をします。

(11) アナログ入力

アナログ入力に関する設定をします。

(12) 警報発報

警報発報に関する設定をします。

(13) 日報発報

日報発報に関する設定をします。

(14) TCP／IP

TCP／IPに関する設定をします。

(15) 通信条件

通信条件に関する設定をします。

(16) ステータスバー1

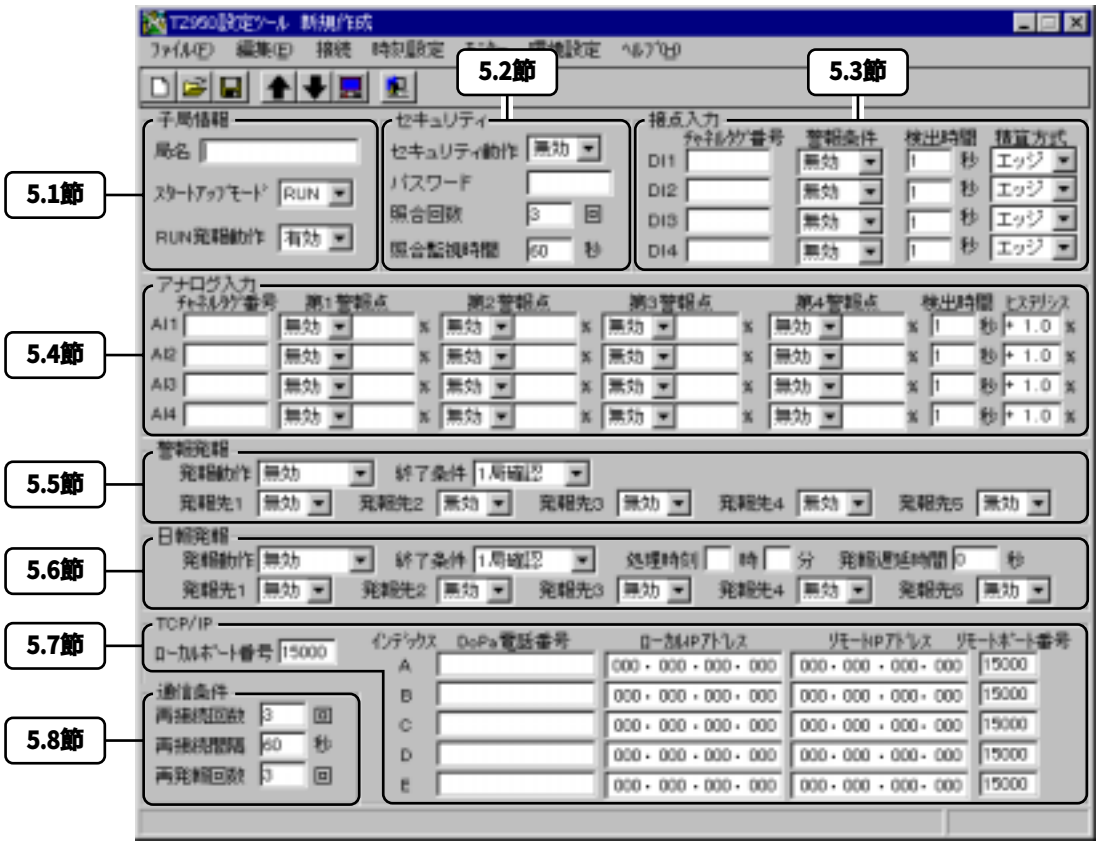
各パラメータ上にマウスポインタを移動すると，パラメータの簡単な説明を表示します。
また，通信中には進行状況を示すバーグラフを表示するモードに変わります。

(17) ステータスバー2

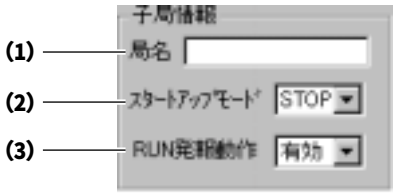
通信を行った結果を表示します。

5. パラメータの説明

この章では，TZ950で設定できるパラメータを説明します。メイン画面ではユニット共有データを設定します。



5.1 子局情報



(1) 局名

TZ510の局名を半角16文字または全角8文字以内で設定します。
TZ510を識別するために同一局名が存在しないように割り付けます。

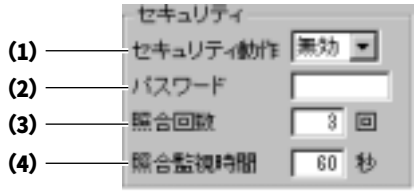
(2) スタートアップモード

スタートアップ後の動作モードを以下の2種類から選択します。出荷時は，“ RUN ”に設定されています。
STOP（スタートアップ後，動作モードをSTOP状態とします。）
RUN（スタートアップ後，動作モードをRUN状態とします。）

(3) RUN発報動作

動作モードがSTOP状態からRUN状態に変更した場合，センター側ホストへのシステム警報発報動作を以下の2種類から選択します。出荷時は，“ 有効 ”に設定されています。
無効（RUN状態に変更してもセンター側ホストにシステム警報を発報しない）
有効（RUN状態に変更でセンター側ホストにシステム警報を発報する）

5.2 セキュリティ



(1) セキュリティ動作

センターからTCP／IP接続するときのセキュリティ動作を以下の2種類から選択します。出荷時は，“無効”に設定されています。

無効（センターからTCP／IP接続時にパスワード照合しない）

有効（センターからTCP／IP接続時にパスワード照合する）

(2) パスワード

セキュリティ動作有効時に照合するパスワードを半角8文字以内で設定します。

設定できる文字は英数字，ハイフン，アンダーバー（“0”～“9”，“A”～“Z”，“a”～“z”，“-”，“_”）から構成される文字列です。

(3) 照合回数

セキュリティ動作有効時に照合するパスワードに誤りがあった場合の再試行回数を設定します。TZ510は，設定した回数内に正しいパスワードが照合されない場合，強制的に回線を切断します。出荷時は，“3回”に設定されています。

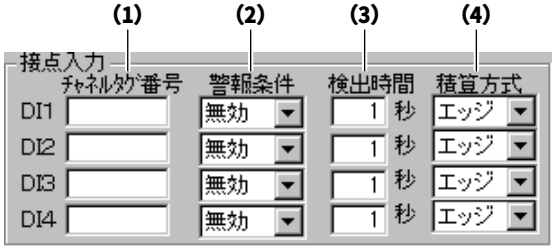
設定範囲：0～255回

(4) 照合監視時間

セキュリティ動作有効時に正しいパスワードが照合されるまでの時間を設定します。出荷時は“60秒”に設定されています。

設定範囲：1～3600秒

5.3 接点入力



(1) チャネルタグ番号

チャネルのタグを半角8文字または全角4文字以内で設定します。

(2) 警報条件

接点入力の警報条件をチャネル毎に以下の3種類から選択します。出荷時は“無効”に設定されています。

無効（警報検出しない状態）

H状態（接点オンから接点オフへの変化で警報とする状態）

L状態（接点オフから接点オンへの変化で警報とする状態）

(3) 検出時間

警報検出から警報として確定するまでの時間を設定します。出荷時は“1秒”に設定されています。

設定範囲：1～3600秒

(4) 積算方式

積算方式をチャネル毎に以下の2種類から選択します。出荷時は“エッジ”に設定されています。

エッジ（オンの回数を積算します）

時間（オン時間を1秒単位で積算します）

5.4 アナログ入力

(1) チャネルタグ番号

チャネルのタグを半角8文字または全角4文字以内で設定します。

(2) 警報条件

アナログ入力の警報条件をチャネル毎に以下の3種類から選択します。出荷時は“無効”に設定されています。

無効（警報検出しない状態）

上限（警報点以上のとき警報とする状態）

下限（警報点以下のとき警報とする状態）

(3) 警報点

各チャネル毎にアナログ入力の第1警報点～第4警報点を設定します。なお，TZ510は出荷時“第1警報点100.0%”“第2警報点75.0%”“第3警報点25.0%”“第4警報点0.0%”に設定されています。

設定範囲：-12.5～112.5%

(4) 検出時間

警報検出から警報として確定するまでの時間を設定します。出荷時は“1秒”に設定されています。

設定範囲：1～3600秒

(5) ヒステリシス

各チャネル毎に警報点のヒステリシスを設定します。出荷時は各チャネルとも“+1.0%”に設定されています。

補足

検出時間およびヒステリシスの設定は，第1～第4警報点すべて共通です。

5.5 警報発報

(1) 発報動作

警報発報時の発報動作を以下の3種類から選択します。出荷時は“無効”に設定されています。

無効（発報動作を行わない）

発生のみ（警報発生時のみ警報発報する）

発生と復帰（警報発生および復帰時に警報発報する）

(2) 終了条件

複数の警報発報先を設定したときの，発報終了する条件を以下の2種類から選択します。出荷時は，“1局確認”に設定されています。

1局確認（任意のホストから発報受信確認後に終了とする）

全局確認（すべてのホストから発報受信確認後に終了とする）

(3) 発報先

発報先1～5に発報するホストのインデックスを以下の6種類から選択します。警報発報は，発報先1から順に優先されます。出荷時は全て“無効”に設定されています。

無効（発報先を指定しない）

A（TCP／IPのインデックスAに設定された発報先）

B（TCP／IPのインデックスBに設定された発報先）

C（TCP／IPのインデックスCに設定された発報先）

D（TCP／IPのインデックスDに設定された発報先）

E（TCP／IPのインデックスEに設定された発報先）

5.6 日報発報

(1) 発報動作

日報発報時の発報動作を以下の2種類から選択します。出荷時は“無効”に設定されています。

無効（日報を発報しない）

有効（日報を発報する）

(2) 終了条件

複数の日報発報先を設定したときの，発報を終了する条件を以下の2種類から選択します。出荷時は，“1局確認で終了”に設定されています。

1局確認で終了（任意のホストから発報受信確認後に終了とする）

全局確認で終了（すべてのホストから発報受信確認後に終了とする）

(3) 処理時刻

日報処理を実行する時刻を設定します。出荷時は未設定です。

設定範囲：時（0～23），分（0～59）

注 意

処理時刻は，“時”“分”とも設定する必要があります。どちらか一方でも未設定の場合は，発報動作を行いません。

(4) 発報遅延時間

日報処理時刻から発報するまでの遅延時間を設定します。

発報処理時刻が同じ複数のTZ510から日報発報が同時に行われないようにすることができます。出荷時は“0秒”に設定されています。

設定範囲：0～3600秒

(5) 発報先

発報先1～5に発報するホストのインデックスを以下の6種類から選択します。日報発報は，発報先1から順に優先されます。出荷時は全て“無効”に設定されています。

無効（発報先を指定しない）

A（TCP／IPのインデックスAに設定された発報先）

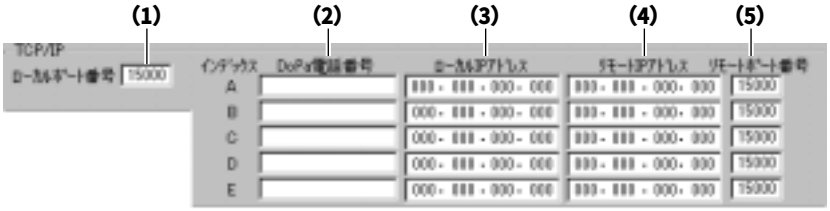
B（TCP／IPのインデックスBに設定された発報先）

C（TCP／IPのインデックスCに設定された発報先）

D（TCP／IPのインデックスDに設定された発報先）

E（TCP／IPのインデックスEに設定された発報先）

5.7 TCP／IP



(1) ローカルポート番号

ホストからの接続時にTZ510が接続要求待ちするTCPポート番号を設定します。
出荷時は“ 15000 ”に設定されています。
設定範囲：0～32767

(2) DoPa電話番号

DoPa網に接続するための電話番号を設定します。

(3) ローカルIPアドレス

Mobile ArkのIPアドレスを設定します。

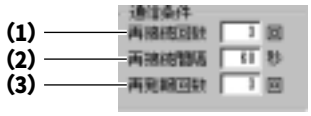
(4) リモートIPアドレス

ホストのIPアドレスを設定します。

(5) リモートポート番号

TZ510からの接続時にホストが接続要求待ちするTCPポート番号を設定します。
出荷時は“ 15000 ”に設定されています。
設定範囲：0～32767

5.8 通信条件



(1) 再接続回数

発報時の再接続回数を設定します。
TZ510は，同一ホストに対して発報受信確認されるまで接続を試みます。
再接続回数を2回に設定した場合は，同一ホストへのTCP／IP接続を連続して3回試みます。
出荷時は“ 3回 ”に設定されています。
設定範囲：0～255回

(2) 再接続間隔

発報時の再接続間隔を設定します。
ホストから発報受信確認されなかった場合，TZ510は再接続間隔（秒）待ってから同一ホストへのTCP／IP接続を試みます。出荷時は“ 60秒 ”に設定されています。
設定範囲：60～3600秒

(3) 再発報回数

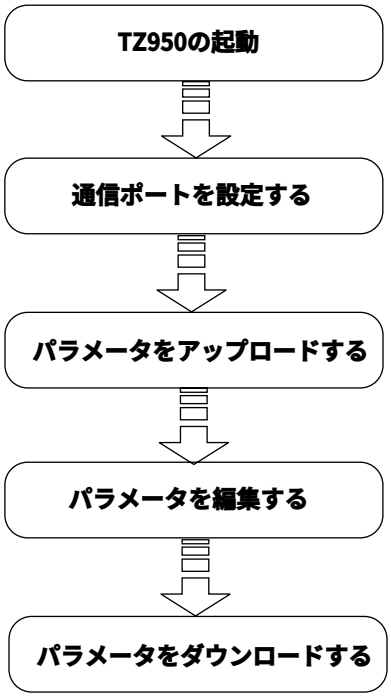
複数の発報先が設定されている場合に発報先を切り換える回数を設定します。
TZ510は，ホストから発報受信確認されるか，またはTCP／IP接続が設定した再接続回数分失敗した場合に発報先を切り換えます。出荷時は“ 3回 ”に設定されています。
設定範囲：0～255回

Blank Page

6. TZ950の基本操作

この章では，TZ950の基本となる操作方法を説明します。本書の「4章．メイン画面の各部名称と役割」および「5章．パラメータの説明」を参照しながら操作してください。

6.1 パラメータの設定手順



参　照
本書の「3章 TZ950の起動と終了」を参照してください。

参　照
本書の「6.2節 通信ポートを設定する」を参照してください。

参　照
本書の「6.3節 パラメータをアップロードする」を参照してください。

参　照
本書の「6.4節 パラメータを編集する」を参照してください。

参　照
本書の「6.5節 パラメータをダウンロードする」を参照してください。

6.2 通信ポートを設定する

ここでは，TZ510と通信するための通信ポートの設定方法を説明します。
通信ポートの設定は，最初に設定するとその内容は保存されますので，以降の起動時では設定する必要はありません。

『手順1』 ツールバーの をクリックするか，メニューバーの［環境設定］－［オプション］をクリックすると，オプション画面が表示されます。

『手順2』 使用する通信ポート（COM1～COM4の中から選択）をクリックします。

『手順3』 【OK】ボタンをクリックすると設定した通信ポートが確定されオプション画面が閉じられます。また，【キャンセル】ボタンをクリックすると，設定した通信ポートは無効とし，オプション画面が閉じられます。

6.3 パラメータをアップロードする

アップロードは，TZ510のパラメータをパソコン（TZ950）に読み込む操作です。

『手順1』 ツールバーの ボタンをクリックするか，メニューバーの［接続］－［機器からアップロード］ をクリックします。

メイン画面下部のステータスバー1に“ 通信中　UpLoad ”とバーグラフが表示され進行状況を知らせます。

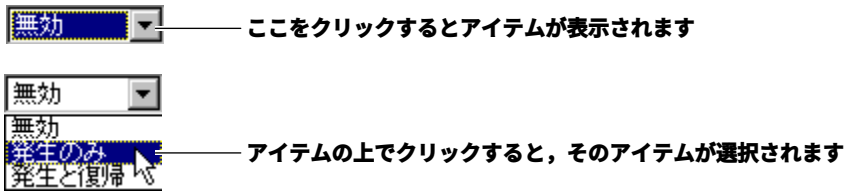
アップロードが正常に終了するとメイン画面右下のステータスバー2に“ アップロード正常終了 ”のメッセージが表示されます。

6.4 パラメータを編集する

パラメータを編集（変更）するには，キー入力・選択の2通り方法があります。ここではパラメータを編集するためのキーボード･マウスの操作方法について説明します。

キー入力：“マウス”または“Tab”キーで編集したい位置へカーソルを移動し，キーボードから入力します。

選択：　「マウス」または「Tab」キーで編集したい位置へカーソルを移動します。



6.5　パラメータをダウンロードする

ダウンロードは，TZ510にパラメータをパソコン（TZ950）に書き込む操作です。

『手順1』　ツールバーの ボタンをクリックするか，メニューバーの［接続］－［機器へダウンロード］ をクリックします。

メイン画面下部のステータスバー1に“ 通信中　DownLoad ”とバーグラフが表示され進行状況を知らせます。

ダウンロードが正常に終了するとメイン画面右下のステータスバー2に“ ダウンロード正常終了 ”のメッセージが表示されます。

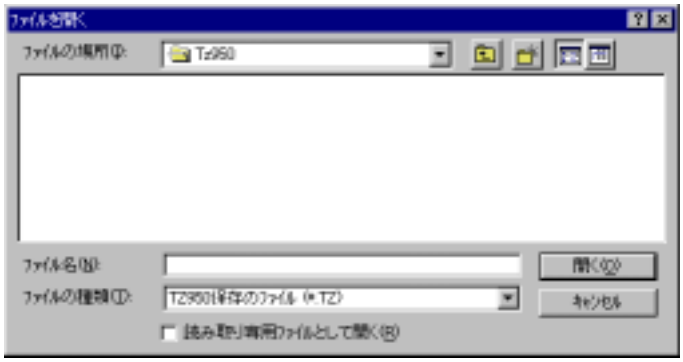
6.6 ファイルの入出力

アップロードやダウンロードしたパラメータは，ハードディスクやフロッピーディスクに保存したり，読み込みができます。保存してあるパラメータは，ファイルの読み込みを行うとアップロードした時と同じイメージで画面に表示され，そのパラメータをTZ510にダウンロードすることができます。

6.6.1 ファイルの読み込みをする

ハードディスクやフロッピーディスクに保存してあるパラメータを読み込みます。

（手順） ツールバーの ボタンをクリックするか，メニューバーの［ファイル］－［開く］をクリックするとコモンダイアログボックスが表示されます。



コモンダイアログボックスでファイル名を指定し，【開く】ボタンをクリックします。ファイル名の拡張子は“ TZ ”です。

6.6.2 ファイルの保存をする

アップロードやダウンロードしたパラメータは，ハードディスクやフロッピーディスクに保存することができます。

（手順） ツールバーの ボタンをクリックするか，メニューバーの［ファイル］－［上書き保存］をクリックするとコモンダイアログボックスが表示されます。ファイル名を変更または新規に保存する場合は，［名前を付けて保存］をクリックします。

コモンダイアログボックスでファイル名を指定し【保存】ボタンをクリックします。ファイルの拡張子は“ TZ ”です。

6.7 その他のパラメータ変更

6.7.1 表示中のパラメータを初期化する

現在表示しているパラメータを工場出荷時のデータに初期化にすることができます。ただし，TZ510のパラメータは初期化しません。

（手順） ツールバーの をクリックするか，メニューバーの［ファイル］－［新規作成］をクリックします。

6.7.2 TZ510のパラメータを初期化する

（手順） メニューバーの［編集］－［すべての機器設定値を工場出荷値に戻す］をクリックします。

メイン画面下部のステータスバー1に“ 通信中　工場出荷 ”とバーグラフが表示され進行状況を知らせます。

正常に終了するとメイン画面右下のステータスバー2に“ 正常終了 ”と表示されます。

6.8 パラメータの印刷

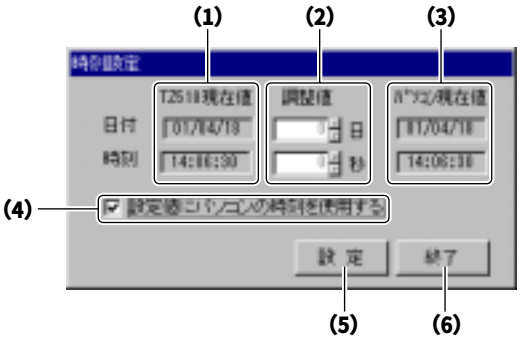
メイン画面を印刷することができます。

（手順） メニューバーの［ファイル］－［印刷］をクリックします。

6.9 時刻設定

ここでは，TZ510の日付および時刻を設定する方法を説明します。

（手順） メニューバーの［時刻設定］－［TZ510時刻設定］をクリックします。時刻設定画面が表示されます。



(1) TZ510現在値

TZ510の日付および時刻を表示します。［時刻設定］画面表示中は日付および時刻を自動的に更新します。

(2) 調整値

TZ510現在値を調整する場合に設定します。調整値設定ボックス右の▲▼ボタンをクリックすることで調整値を変更できます。（4）の“設定値にパソコンの時刻を使用する”が無効（チェックボックスに“✓”が表示されていない状態）のときのみ調整値を設定できます。

設定範囲：日付（-31～+31）日，時刻（-3600～+3600）秒

＜設定例＞

例えば，時刻（TZ510現在値）を“12時34分56秒”から12時40分00秒に設定する場合は，調整値設定ボックス横の▲▼ボタンにより調整値を“304”とし【設定】ボタンをクリックします。TZ510現在値は“12時40分00秒”に書き換えられます。

(3) パソコン現在値

パソコンの日付および時刻を表示します。［時刻設定］画面を表示中は日付および時刻を自動的に更新します。

(4) 設定値にパソコンの時刻を使用する

TZ510現在値をパソコン現在値に設定するか，TZ510現在値に調整値を付加して設定するか選択します。

パソコン現在値を使用する場合は，“設定値にパソコンの時刻を設定する”をクリックし，チェックボックスに“✓”を表示します。

調整値を設定する場合は，このチェックボックスに“✓”が表示されていない状態で行います。

(5) 【設定】ボタン

TZ510の日付および時刻の設定変更値を確定します。

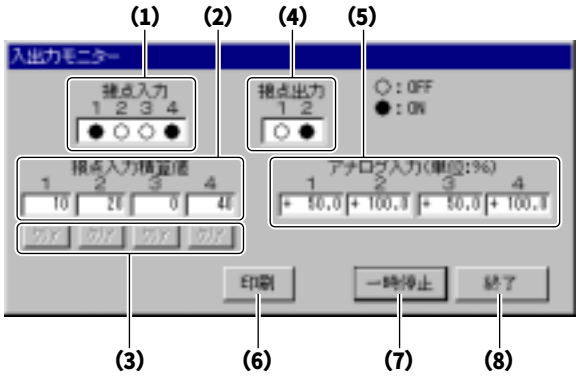
(6) 【終了】ボタン

日付および時刻設定を終了しメイン画面に戻ります。

6.10 入出力モニタ

TZ510の入出力値を，モニタリングする方法を以下に説明します。

（手順） ツールバーの ボタンをクリックするか，メニューバーの［モニター］－［入出力モニター］をクリックすると，入出力モニター画面が表示されます。



(1) 接点入力

接点入力のチャネル1～4の瞬時値を表示します。
接点ONのとき“●”，接点OFFのとき“○”になります。

(2) 接点入力積算値

接点入力のチャネル1～4の積算値を表示します。

(3) 接点入力積算値クリア

接点入力のチャネル1～4の積算値をクリアします。

注 意

接点入力積算値の【クリア】ボタンはモニタ動作が停止している場合のみ有効となります。

(4) 接点出力

接点出力のチャネル1～2の瞬時値を表示します。
接点ONのとき“●”，接点OFFのとき“○”になります。

(5) アナログ入力

アナログ入力のチャネル1～4の瞬時値を%で表示します。

(6) 【印刷】ボタン

入出力モニタ画面を印刷します。

(7) 【一時停止／開始】ボタン

モニタ動作を停止および開始する場合に使用します。

(8) 【終了】ボタン

モニタ動作を終了しメイン画面に戻ります。

6.11 自己診断結果の読み込み

TZ510の自己診断結果を読み込ませる方法を以下に説明します。

（手順） メニューバーの［モニター］－［自己診断結果］をクリックすると，自己診断結果画面が表示されます。

(1) 【終了】ボタン

自己診断結果を終了しメイン画面に戻ります。

検出される内容は，メモリ異常／リアルタイムクロック異常／ウォッチドックタイマリセットスタートなどがあります。

取扱説明書　改訂情報

資料名称　　：TZ950 パラメータ設定ツール 取扱説明書

資料番号　　：IM 77E01E11-01

2001年05月／初版
新規発行
2001年06月／2版
誤記訂正
2004年05月／3版
社名変更

発行者　　横河電機株式会社
〒180-8750　東京都武蔵野市中町 2-9-32

Blank Page

Blank Page

YOKOGAWA

横河電機株式会社

ネットワークソリューション事業部 国内営業部　0422-52-6765
〒180-8750 東京都武蔵野市中町2-9-32

中　部　支　社　052-586-1681
〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-27-2（日本生命笹島ビル12階）

関　西　支　社　06-6368-7130
〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-23-101（大同生命江坂ビル7階）

中　国　支　社　082-541-4488
〒730-0037 広島市中区中町8-12（広島グリーンビル8階）

九　州　支　社　092-272-1731
〒812-0037 福岡市博多区御供所町3-21（大博通りビジネスセンター7階）

支　　店

北海道	011-223-2821	北　陸	076-231-5301
東　北	022-243-4441	岡　山	086-221-1411
千　葉	0436-61-6751	四　国	087-821-0646
豊　田	0565-33-1611	北九州	093-521-7234

営　業　所

新　潟	025-241-3511	川　崎	044-280-4161
水　戸	029-306-2520	水　島	086-427-5181
堺	072-224-2515	新居浜	0897-33-9374
四日市	0593-52-4144	沖　縄	098-862-2093
鹿　島	0299-93-3801		